

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成28年度病害虫発生予察注意報第3号について

平成28年度病害虫発生予察注意報第3号を発表したので送付します。

平成28年度病害虫発生予察注意報第3号

平成29年1月30日
宮 崎 県

病害虫名 斑点病
作物名 冬春ピーマン

1 発生地域 県下全域

2 発生量 やや多

3 注意報の根拠

- 1) 1月中旬の巡回調査における斑点病の発生面積率は54.6%（前年33.3%、平年33.5%）、発病葉率は6.6%（前年4.7%、平年3.7%）で、いずれも平年に比べてやや多の発生であった（図1、2）。
- 2) 向こう1か月の気象予報では、気温は高く、降水量は少ない予報であるが、曇雨天日が多くなると、施設内の湿度が高くなり、斑点病の発生に好適な条件となる可能性がある（鹿児島地方気象台1月26日発表1ヶ月予報）。
- 3) 平成28年11月30日付で防除情報第7号を発表し、適正管理および防除を呼びかけたが、その後も発生が拡大した。

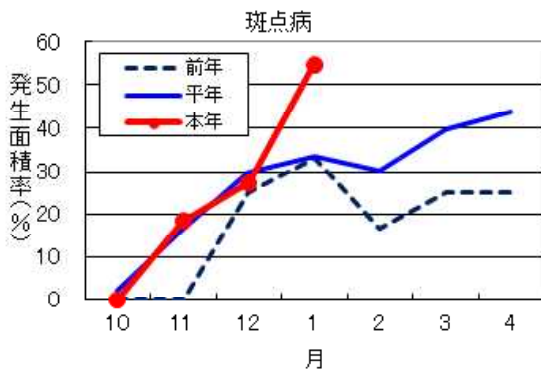


図1 巡回調査における発生面積率の推移

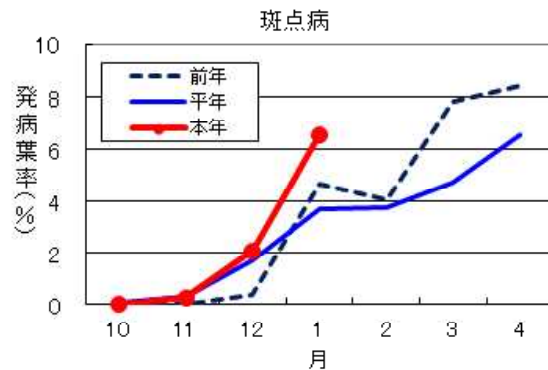


図2 巡回調査における発病葉率の推移

4 防除上の注意

- 1) 施設内が高湿多湿にならないように、換気、水管理に注意するとともに、茎葉が過繁茂にならないよう管理を徹底する。
- 2) 厳寒期は施設内保温のために、密閉時間が長くなるので、加温機で送風を行うなどして発病しにくい環境作りに努める。
- 3) 発病葉は感染源となるため適正に処理する。本病に感染し落葉した葉、および着生している発病葉もできるだけこまめに摘葉しほ場外に持ち出し処分する。
- 4) 多発してからでは防除効果が劣るので、予防散布に重点をおく。発病がみられたら直ちに薬剤散布を行う。
- 5) 厳寒期には一時的に病勢の進展が緩慢になる傾向にあるが、3月以降は発病が増加傾向にあるので、発生を見逃さないように注意し、定期的な予防散布を実施する。

5 その他

その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病虫害防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病虫害防除・肥料検査課
（病虫害防除・肥料検査センター） 久野
TEL：0985-73-6670 FAX：0985-73-2127
E-mail：byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp